

# 福井市 まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略（概要版）

## 人口ビジョン

### 人口減少の現状

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、

- 本市の人口は、2010(平成22)年に26万7千人であったが、2040(平成52)年には21万6千人となり、5万人減少する
- 年少人口(0～14歳)は、減少し続け、1万人の減、現在の2/3程度となる
- 生産年齢人口(15～64歳)は、5万5千人減少する
- 高齢化率は、40%まで上昇し続ける

- 本市の人口は、今後、減少を続ける
- 人口減少の中、極端な高齢社会を迎える



### 総合戦略に基づく施策の展開

人口減少に立ち向かうべく、本市の特長や強みを活かした施策展開を行う。

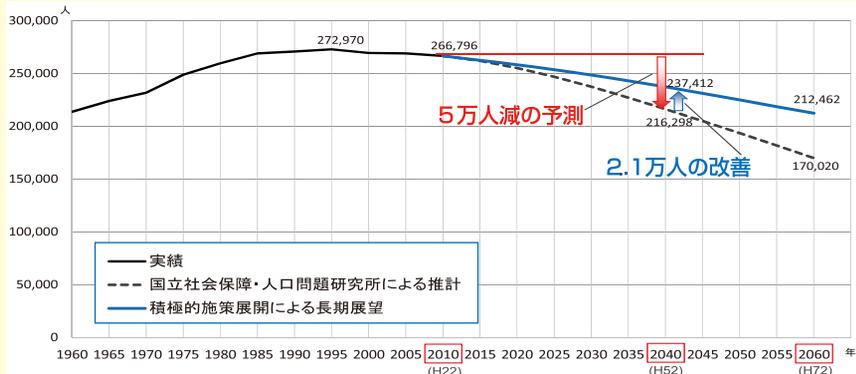
### 人口の長期展望

#### 自然動態

国の長期ビジョンより5年程度早く、合計特殊出生率が上昇(2010年1.65を、2025年1.8程度、2035年2.07程度)

#### 社会動態

2020年を目途に、転入転出が均衡 上記の仮定が実現されると、本市の将来人口の見通しは、次のとおりとなる。



- 2040年の人口は、21万6千人の推計に対し、23万7千人となり、減少幅が2万人程度改善される
- 年少人口(0～14歳)は、減少に歯止めがかかる
- 生産年齢人口(15～64歳)は、減少幅が、1万人程度改善される
- 高齢化率は、36%まで上昇するが、2045年以降、低下する

東京一極集中是正に向け、全国の自治体で「ひと・まち・しごと創生、人口ビジョン・総合戦略」が作成されている。福井市においては、昨年11月に本戦略(案)が取りまとめられま

した。

ポイントは、国の推計による人口減少を2040年を目途に本市の人口を約5万人減となることを3万人程度の減にとどめ、合わせて現状の人口構

造を若返らせ様とするものである。当然今後の市政運営の柱となる方針と言える。現在作成中の第7次福井市総合計画にも反映される。4年間かけての中期移行や2年後の福井

国体開催、その後の北陸新幹線福井駅開業等、大きな事業が近づいている。今こそ、本市の49の地域がそれぞれ連携し、又主体となつての特色ある街づくりが求められています。

## 福井市の創生まとまる。



# こんにちは 青木です

# こんにちは



### 第26号

発行 青木みきお  
福井市市ノ瀬町21-18  
☎0776(85)1466  
発行責任者 青心会  
会長 吉田 則夫  
印刷 (有)いとう印刷

### 未来につながる長期的な展望

積極的な施策展開により、

- 少しでも人口減少に歯止めをかける
- 人口構造を若返らせる



## 総合戦略

### 基本目標1

福井の産業の強みを活かし、働く場を創出する  
5年間で一〇〇〇人の新たな就業の場を創出  
企業立地数、創業者数、新規就農者数、農産物直売所売上高ほか

### 基本目標2

福井の魅力を活かし、新しいひとの流れをつくる  
転入・転出者数を均衡  
数値目標  
一乗合観光客入込数、ハピリン来場者数、本市への移住者数、学生向け事業参加者の市内企業就職数ほか

### 基本目標3

福井の優れた環境で、結婚、出産、子育ての希望をかなえる  
合計特殊出生率全国トップクラスの維持  
数値目標  
婚活イベントカップル成立数、子育てを楽しいと感じる人の割合、待機児童ゼロの維持、ワーク・ライフ・バランス事業による支援企業数ほか

### 基本目標4

県都として中心的役割を担うとともに、時代に合った住みやすいまちを創造する  
福井市に住み続けたいと思う市民の割合90%  
数値目標  
連携中枢都市圏の形成、まちなか居住支援件数、公共交通機関利用者数ほか





# 3月議会報告

2/29  
3/23



東村市政3期目の最初の年の予算が提案されました。一般会計一千二百二十三億円、特別会計七百六十億円、企業会計三百五億円の総額二千八百八十四億五千万円となっています。重点施策として、「ふくい」への新しい人の流れ、「ふくい」に誇れる「ふくい」の個性豊かで笑顔あふれる地域の、実現に向けてが掲げられています。

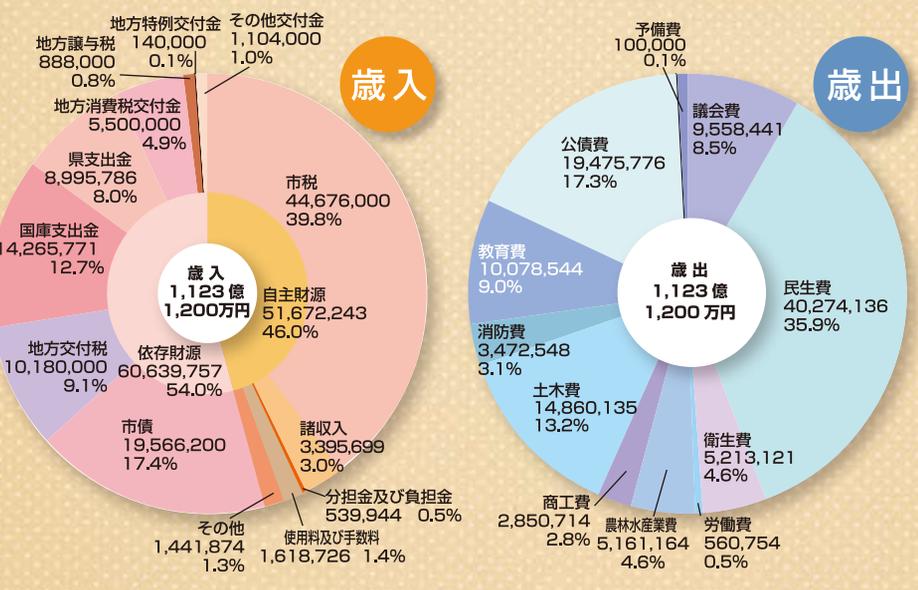
## 議会質疑

### 一般質問

**質** 全国に誇れる「ふくい」を実現するとしているが日本の原点、日本人の心を知る事にもつながる聖徳太子がひ孫にあたる第二十六代天皇、継体天皇に思いをさせる事こそ重要であると考えるが？

**答** 足羽山整備事業も含め、継体天皇とゆかりの強い本市において歴史的ストーリーを生かしたハード、ソフトの両面において取り組んで行く。(市長)

### 平成28年度当初予算（一般会計）(単位：千円)



ての誇れる取り組みとしたい。(総務部長)

**質** 商工業の振興について企業誘致や企業拡大は不可欠であり、東京事務所開設の今こそ土地利用の緩和が重要と考えるが？

**答** 企業立地促進条例に基づき推進しているが、今後はテクノポート福井の未利用地利用や特区としての産業誘致政策に取り組みで行きたい。(商工労働部長)

**質** 農業振興について農業活性化プランの稲作の強化と、園芸の推進が進められているが現状は？

**答** 産地づくり、経営体の確保、作物の選定を進めている。低コスト耐久性ハウスによる園芸の拠点化や、市内全域での種苗支援等を行っている。農地の集約化と合わせ後継者育成に努める。(農林水産部長)

**質** 本市は3世代同居率が高い。国もその暮らし方を今年支援するとしているが考え方は？

**答** 子育て、家族の絆等重要であり、強制は出来ないが良い面を進めたい。(総務部長)



## 予算特別委員会

3月16日・17日

**質** 社会教育、生涯学習について、教育基本法が改正されて10年、学社連携が唱われているが昨年中央教育審議会より、学校と地域の連携、協働体制が重要と新たに提唱された。学校と企業や大学との連携は？

**答** 学校には学校運営協会の代表者によって協議運営を行っている。社会性を育てる事業を多種多様に企業や大学の協力を得て行っている。(教育部長)

**質** 当市の公民館は非常勤の専任制度や運営審議委員会の在り方等、全国的に高い評価を得ている。学校も子供の学力、体力においても注目されている。高いレベルでの連携が求められていると思うが今後の取り組みは？

**答** 社会教育を担う体制と事業において地域づくりに必要な力をもった人材を育て、すぐれた公民館として街づくりに生かしたい。(教育部長)

**質** 元企業の魅力発見セミナー等を柱として取り組んで。高校生や大学生がスムーズに地元企業の情報を得て定住化する様子を。 (商工労働部長)

**質** 具体的目標と連携はどう考えるか？

**答** 5ヶ年で学生で二百二十人、社会人で百八十人を目標に取り組んでいる。ハローワーク等とも連携して学生に向けての周知に取り組みたい。(商工労働部長)

### 要望

人口減少に歯止めをかける為、市民総参加の総合的な取り組みを期待する。



朝倉ゆめまる

### あなたの思いは？

第二次世界大戦の敗北によって、日本人は戦前の価値観をすべて否定し捨ててしまったと言われていました。封建的な日本の家族制度は諸悪の根源であるとして、大家族を否定し伝統的な家族制度は消滅してしまいました。大家族は核家族へ、そして今では核分裂家族等とも言われる昨今となっています。

一方で戦後日本が失ってしまった精神性や価値観の重要性が叫ばれています。福井県・福井市は幸甚幸甚、その理由の端は日本の伝統的な暮らし方が色濃く残っている点にあると言われています。その特性を生かすことこそ最も重要で大切であると考えています。まさに、その実践こそ全国に誇れる「ふくい」の実現に向けた取り組みと言えると考えています。平成28年度、我がふるさととの歴史や伝統の原点に基づく視点を深めながら、議会活動に取り組みで行きたいと思っています。市民の皆様のご意見やご要望を頂きます事を心から願っています。

青木みきお